

担当教員 樫永真佐夫				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DRSb04	授業形態 演習	単位 2
キーワード 東南アジア大陸部、文化人類学		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 東南アジア文化研究演習 II				
科目名称：英語 Seminar II (Southeast Asian Studies)				
科目の概要：日本語 東南アジアにおける地域文化				
科目の概要：英語 Local Cultures in Southeast Asia				
科目の目的： 東南アジアはきわめて地理的、文化的に多様な地域性をもつ。この授業では、東南アジア大陸部における村落社会研究に関する知見を深める。				
学習成果・習得する技能や知識： 東南アジア大陸部の文化人類学における村落社会研究に関する専門的な知識を深め、受講者の調査地における文化継承の現状に関する分析手法を学ぶ。				
成績評価方法・基準： 授業への参加貢献度（80%）、レポート（20%）。レポートでは、専門知識に基づき、適切な問題設定ができていのかどうかを主な評価基準とする。				
授業内容： 受講生が調査に関する発表を行い、必要に応じて東南アジア大陸部の村落研究に関する著作を講読し議論する。				
日程： 受講生と協議により定める 授業の日時に関しては、学生と相談の上、適宜決定する。				
実施場所： 担当教員の研究室				
使用言語： 日本語				
準備学習： 受講者は、1. 研究テーマ、2. 本授業を受講する理由(自らの研究テーマや問題関心との関連において)、3. 本授業に希望することについて、4月29日までにレポートを担当教員宛にメールにて提出すること				

と。

授業のなかで随時指定する参考文献を、指定する回の授業までに読んでくること。

教科書・必読書：

Charles F. Keyes, 1977, *The golden peninsula: culture and adaptation in mainland Southeast Asia*, New York : Macmillan

備考：

- ・英語の読解力を必要とする。発表とレポートは日本語で書き話すことをもとめる。
- ・地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可